

2011年 7月 27日

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ

東京マラソン2011完走者を対象に、ランナーの意識調査を実施

～ランニングをする理由は「健康にいいから」、 東京マラソン出場理由は「東京都心を走ることができるから」がトップ～

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ(本社:東京都港区 社長:大森 壽郎 以下博報堂DYメディアパートナーズ)は、一般財団法人東京マラソン財団と協働で、2011年の東京マラソン完走者を対象に、普段のランニングやマラソン大会出場のための練習に関して、また、東京マラソンを走った感想などランナーの意識・嗜好に関して調査を行いました。

普段のランニングや練習についての調査では、「ランニングをする頻度」は、「週に2～3回程度」が46.6%と最も高く、次いで「週に1回程度」が20.4%と、週に2回以上が全体の約7割弱を占めるとい結果となりました。そして、「マラソン大会出場のための普段の練習量」は、平日は「30分～1時間未満」が47.1%と最も高く、休日は「1時間～1時間半」が34.1%とい結果となりました。

また、「ランニングをする理由」は、「健康にいいから」が64.4%、「運動不足が解消できるから」が57.1%と健康面の理由が最も高く、一方で「ひとりで手軽にできるから」が55.1%と3番目に高いことから、手軽さがマラソンをする理由の一つになっていると言えます。完走タイムが早い人ほど「走ることが楽しいから」が50.0%、「達成感が得たいから」が49.5%とメンタル面での項目が高くなります。

東京マラソンについての調査では、「出場したいと思った理由」は「東京都心を走ることができるから」が91.1%と最も高く、完走タイムに関わらず出場の最大の理由になっていると言えます。「他のマラソン大会に比べて良い点」は、「沿道の応援」が80.9%、「コース」が73.6%、「ボランティアの数」が66.6%と大会規模や東京都心で走ることができる点が評価されていると考えられます。また、2011年から新たに設けられた「チャリティーランナー枠認知」は「チャリティーランナー枠を知っていた」が92.1%と高くなります。2012年2月26日開催の東京マラソン2012への参加意向は、「参加したい」が95.1%と2011年の参加者がまた走りたいと思える大会であることが分かりました。

この調査は、ランナーの意識・嗜好などを把握し、コンテンツ価値をより高めるためのマーケティングデータとしての活用を目的とし、2011年東京マラソンのフルマラソン完走者を対象に実施したものです。

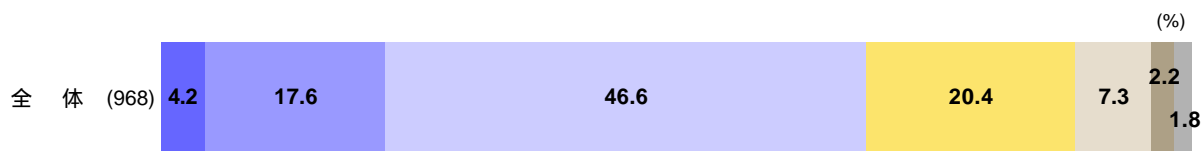
博報堂DYメディアパートナーズは、今後もより価値の高いコンテンツを提供するために、様々な視点から調査や分析を行ってまいります。

主な調査結果】

ランニングに関して

ランニングをする頻度

■ ほぼ毎日 ■ 週に4~5回程度 ■ 週に2~3回程度 ■ 週に1回程度 ■ 月に2~3回程度 ■ 月に1回程度 ■ それ以下



	ほぼ毎日	週に4~5回程度	週に2~3回程度	週に1回程度	月に2~3回程度	月に1回程度	それ以下
全 体 (968)	4.2	17.6	46.6	20.4	7.3	2.2	1.8
性 別 男性 (500)	4.2	19.0	48.0	19.6	5.8	1.6	1.8
性 別 女性 (468)	4.3	16.0	45.1	21.2	9.0	2.8	1.7

普段の練習量

■ 30分未満 ■ 30分~1時間未満 ■ 1時間~1時間30分未満
 ■ 1時間30分~2時間未満 ■ 2時間~2時間30分未満 ■ 2時間30分~3時間未満
 ■ 3時間以上 ■ 練習しない ■ わからない

平 日 10.6 47.1 27.3 0.7 5.6 0.1 8.3 0.2

	30分未満	30分~1時間未満	1時間~1時間30分未満	1時間30分~2時間未満	2時間~2時間30分未満	2時間30分~3時間未満	3時間以上	練習しない	わからない
全 体 (968)	10.6	47.1	27.3	5.6	0.7	0.1	0.1	8.3	0.2
性 別 男性 (500)	11.8	42.8	29.8	5.6	0.8	-	0.2	9.0	-
性 別 女性 (468)	9.4	51.7	24.6	5.6	0.6	0.2	-	7.5	0.4

■ 30分未満 ■ 30分~1時間未満 ■ 1時間~1時間30分未満
 ■ 1時間30分~2時間未満 ■ 2時間~2時間30分未満 ■ 2時間30分~3時間未満
 ■ 3時間以上 ■ 練習しない ■ わからない

休 日 2.1 16.1 34.1 25.2 13.7 4.6 2.1 1.6 0.4

	30分未満	30分~1時間未満	1時間~1時間30分未満	1時間30分~2時間未満	2時間~2時間30分未満	2時間30分~3時間未満	3時間以上	練習しない	わからない
全 体 (968)	2.1	16.1	34.1	25.2	13.7	4.6	2.1	1.6	0.4
性 別 男性 (500)	2.4	15.8	33.0	25.4	15.6	5.0	1.8	1.0	-
性 別 女性 (468)	1.7	16.5	35.3	25.0	11.8	4.3	1.5	3.2	0.9

ランニングをする理由

- 1位：健康にいいから 64.4%
- 2位：運動不足が解消できるから 57.1%
- 3位：ひとりでも手軽にできるから 55.1%
- 4位：走ることが楽しいから 50.0%
- 5位：達成感を得たいから 49.5%

走る以外で日常生活で実践していること

【通勤時】

- 1位：エレベーターよりできるだけ階段を使うようにしている49.8%
- 2位：背筋を伸ばすなど姿勢を正すようにしている39.9%
- 3位：書店などでランニングに関する書籍や雑誌をチェックしている 35.3%

【自宅】

- 1位：食事に気をつけるようにしている 49.9%
- 2位：規則正しい生活を心がけている 38.1%
- 3位：インターネットでランニング関係のサイトを見る 36.9%

普段の練習時で困っていること

- 1位：走り方などを指導してくれる人が身近にないこと 41.8%
- 2位：限られた時間の中で効率的な練習方法が分からないこと 33.6%
- 3位：正確な走行距離が分からないこと 31.7%

東京マラソンに関して

東京マラソン出場理由

- 1位：東京都心を走ることができるから 91.1%
- 2位：有名な大会だから 52.7%
- 3位：沿道の応援が多いから 49.1%
- 4位：制限時間が長いから 33.4%
- 5位：一流のマラソンランナーと同じコースを走れるから 33.2%

他の大会に比べて良い点

- 1位：沿道の応援 80.9%
- 2位：コース 73.6%
- 3位：ボランティアの数 66.6%
- 4位：給水所の数 56.0%
- 5位：参加受付会場でのイベント(東京マラソンEXPO) 46.1%

来年の参加意向

- ・ぜひ参加したい：89.9%
- ・まあ参加したい：5.3%
- ・どちらともいえない：4.0%

チャリティランナー枠の認知

- 知っていた：92.1%
- 知らなかった：7.9%

キャラクターの必要性

- ・あった方が良くと思う：25.7%
- ・まああった方が良くと思う：17.6%
- ・どちらともいえない：17.1%

調査設計】

調査方法：インターネット調査

調査地区：全国

調査対象者：東京マラソン2011 フルマラソン完走者（20代～60代の男女）

有効回収サンプル数：968 サンプル

調査期間：2011年3月

この件に関するお問い合わせ先

博報堂DYメディアパートナーズ

広報グループ

ソリューションデザイン局

山崎、加藤

大足

03-6441-9347

03-6441-9772